



市民・県民3,600名が出迎える

雲が湧き、夏の光あふれる高校球児の憧れの殿堂、阪神甲子園球場において数々のドラマを展開し、刀折れ、矢尽きるまで全力を尽くし、郷土岩手・花巻の栄光のため闘い、みちのく岩手の夏を熱く燃え上がらせたナインを、市民・県民3,600名が歓喜のなか出迎える。



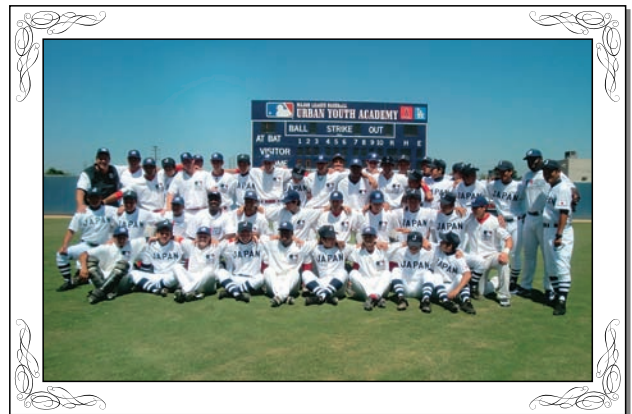
4クラブの優勝報告会 開催される

夏季休業中、各種の大会に出場して優勝した部が4クラブ。バスケットボール部女子・柔道部男子・ソフトボール部・バレーボール部男子と、それぞれ凛々しく伝統と誇りの象徴のユニホームに身を包み、優勝旗やカップ・トロフィー・盾、そして賞状を携え、全校生の待つ会場へ堂々の凱旋。



東北私学大会で、初の準優勝獲得す

全国私学バレー選手権の予選会を兼ねる東北私立高等学校男女バレーボール選手権大会において、予選リーグ・決勝トーナメントと勝ち上がり、粘り強い試合を展開するも、惜しくも優勝を逃す。しかし、東北私学大会初の準優勝に輝くと同時に、全国私学大会への出場権を獲得。期待高まる。



岩手初、日米親善高校野球に選抜される

高校球児の聖地、阪神甲子園球場から帰校後、休む間もなく柏葉康貴君と猿川拓朗君の2名が優秀選手として選考され、米国で開催される「2009年度日米親善高校野球大会」の全日本高校選抜チームに参加。さらに佐々木洋監督が選抜チームのコーチに委嘱された。岩手から全日本チームに加わるのは初のことであり、先鞭をつけた。



橋場先輩 生徒に環境問題を熱く語る

「かけがえない地球の環境を守ろう」をスローガンに、本校が取り組んでいるアースウィークのメイン行事「環境セミナー」。

卒業生の葛巻町議会議員、橋場清廣氏が「地球環境問題に、自分たちができること」と題して、我々一人ひとりが実践しなければならないことの大切さについて熱く語られた。